

# 町民の声を代表して8人の議員が一般質問



## ボランティア

元気な高齢者として、介護施設などでの、レクリエーションの支援、入所



山本 光晴

## 元気なまちづくり



者の話し相手、配膳、お茶出しなどのボランティアに対してポイントを付与し、上限を定めて1年ごとにポイントを地域の特産品や商品券に換えることができる仕組みをとっている。

本町においては、介護保険制度の新しい介護予防事業、あるいは日常生活支援総合事業の開始を予定している平成29年度に向けて、本町の実情に合った事業展開を検討する。



観光立町を掲げる能勢町に観光で訪れる方にとって、トイレは必要不可欠の施設である。公衆トイレの増設か、または寺社のトイレ、地域の公民館等の活用をお願いするのにも多少の補助ができればいいか。

観光施策の推進は欠くことのできないものと認識している。地元理解、特に観光の場所としての理解があつてこそ進めることができる。生活の場と観光地のすみわけのバランスを考えて進めていく。

## 一般質問



福中 満

### 鳥獣被害対策について

町内の鳥獣被害はなお深刻な状況にあるが、その実態や今後の対策はどうか。

昨年度の大坂府の調査では、シカ・イノシシ等も含めたその生息数や被害額は近年あまり変わっていないと思われ

る。今後は獣害対策資材補助制度の柔軟な運用や適切な管理方法の啓発等を進めたい。また猟友会との連携を密にし、狩猟者と被害農家が丸となり、効率的で持続可能な体制の構築に向けて取り組みたい。有害鳥獣の処理場、野生鳥獣肉の活用、猟友会への支援の充実等についても、関係機関と連携し検討していきたい。

- 一、鳥獣被害対策について
- 二、小中学校の文化財産の保存・継承について
- 三、森林里山整備支援事業について

### 小中学校の文化財産の保存・継承について

町内8小中学校には、それぞれの地域での長い歴史の中で育まれた文化的・歴史的・教育的財産が数多く残されている。今後これらをどう管理・保管し、また新学校に継承していくか。

各校の書画をはじめとする教育的財産については、一旦一つの学校に集め保管・管理し、新学校開校後において、展示等の利活用を図っていき

たい。またその際、PTA・同窓会等関係者の皆様にも意見を聞き、その活用や保管について考えていきたい。

### 森林里山整備支援事業について

住民が今後、より積極的に森林里山整備活動



森林組合豊能支所(大里)に集められた間伐材は丸棒加工され、様々な用途に活用されている。

を進められるよう、町行政としてどのような支援事業を計画しているか。

手入れがされず、放置された森林が増加していることから、継続的な間伐事業や更新事業が重要である。26年度の人工林・里山整備事業の経費は合計で2010万円(町費は497万円)であった。28年度の重点対策としては、現在導入が予定されている森林環境税の動向に注視したい。